

施設利用者アンケートの 調査結果について（報告）

令和 6 年12月19日（木）
第 3 回若者支援施設在り方検討部会

目次

1. 利用者アンケートの概要

2. アンケート結果



1. 利用者アンケートの概要

- (1) 目的**
- (2) 実施時期**
- (3) 調査対象**
- (4) 実施方法**
- (5) 回答数**
- (6) 調査項目**

1.利用者アンケートの概要

(1) 目的

現に若者支援施設（Youth+）を利用している方の利用実態やYouth+に求める機能を把握することで、今後の施設の在り方を検討する材料を得ることを目的とする。

(2) 実施時期

令和6年7月1日～令和6年8月31日

(3) 調査対象

年齢や利用形態を問わず、下記調査期間中に若者支援総合センター及び若者活動センターを利用した方

(4) 実施方法

無記名によるアンケート調査。

若者支援総合センター及び若者活動センターにアンケート用紙及びアンケート回収箱を設置し、アンケート用紙又はWeb回答フォームによる回答の協力を依頼

(5) 回答数

1,075件

1.利用者アンケートの概要

(6) 調査項目

- 基本情報（年齢、居住形態、職業、利用施設、来館手段等）
- 貸室（利用目的、利用の決め手、類似施設利用状況等）
- ロビー（利用目的、滞在時間、スタッフとの関係、類似施設利用状況等）
- 相談支援・イベント等（利用目的、効果、類似施設利用状況等）
- 施設に求める機能

 **若者支援施設（Youth+）利用者アンケート** 

このアンケートは、若者支援施設（Youth+）を利用されている皆さまに、Youth+の利用目的や利用状況などをお聞きするものです。
皆さまからのご回答は、将来的な Youth+のあり方を考える参考にさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

■ アンケートへのご回答にあたって
◆ このアンケートは、Youth+を利用するすべての皆さまを対象に実施します。
◆ このアンケートは無記名です。氏名を記入していただく必要はありません。
◆ 選択式の質問については、**必ず**はまる選択肢の数字に○をつけてください。
「その他」の()欄や、自由記欄には、内容を具体的に記入してください。
◆ 答えたくない質問には、答えなくても構いません。次の質問に進んでください。
◆ アンケートへの回答は統計的に集約するため、個人が特定される形で公表されることはありません。

■ 回答方法
アンケートには、この調査票またはウェブ回答フォームのどちらかの方法で、1度だけご回答ください。
【紙の調査票で回答する場合】
◆ この調査票に記入してください。記入した調査票は、Youth+に設置している回収ボックスに投入してください。
【ウェブ回答フォームで回答する場合】
◆ スマートフォン、パソコンなどから右の QR コードまたは下記アドレスへアクセスし、回答してください。

HP アドレス: <https://forms.gle/7vGfR43apG7fY22m43>

【お問い合わせ先】
＜調査票受付窓口＞
株式会社 DAZZLING（担当：横溝）
電話：011-615-7000
＜札幌市道当課＞
札幌市子ども未来子どもくらし・若者支援担当課（担当：渡邊、中島）
電話：011-211-2947（受付時間：月～金曜日（祝日除く） 9：00～17：00）



次のページから散問がはじまります。

図1 あなた自身について、教えてください。【第一設問】

性別	1 男性	2 女性	3 答えたくない									
年齢	1 0～9歳	2 10～14歳	3 15～19歳	4 20～24歳	5 25～29歳	6 30～34歳	7 35～39歳	8 40～49歳	9 50～59歳	10 60～69歳	11 70歳以上	
居住区	1 中央区	2 北区	3 南区	4 白石区	5 厚別区	6 豊平区	7 清田区	8 東区	9 西区	10 手稲区	11 その他()	
居住形態	1 一人暮らし	2 親/兄弟等と同居	3 独居者（パートナーを含む）/子等と同居	4 友人と同居	5 寄宿	6 その他()						
職業	1 学生	2 会社員/公務員等	3 アルバイト/パート	4 フリーランス/自営業	5 会社役員	6 もっぱら家事に従事	7 無職	8 その他()				

図2 Youth+（若者支援施設センター・若者活動センター）は、全部で5箇所あります。

あなたが利用したこのある Youth+をすべて選択してください。【複数回答】

1 Youth+センター	2 Youth+アジア	3 Youth+バブル	4 Youth+豊平	
5 Youth+東区				

図3 図2のうち、あなたがもっとも多く利用する Youth+を1つ選択してください。【第一設問】

1 Youth+センター	2 Youth+アジア	3 Youth+バブル	4 Youth+豊平	
5 Youth+東区				

図4 あなたがもっとも多く利用する Youth+には、どこから出かけることができますか。1箇所以外を複数選択してください。【第一設問】

1 自宅	2 学校	3 フリースクール	4 職場	5 福祉施設	6 その他()
------	------	-----------	------	--------	----------

図5 あなたがもっとも多く利用する Youth+に行くには、図4の交通手段からどのくらいの時間がかかりますか。【第一設問】

1 0～15分	2 15～30分	3 30～45分	4 45分～
---------	----------	----------	--------

図6 あなたがもっとも多く利用する Youth+には、主にどのような交通手段で行けますか。【第一設問】

1 公共交通機関	2 自転車	3 徒歩	4 自家用車	5 その他()
----------	-------	------	--------	----------

2. アンケート結果

- (1) 基本情報**
- (2) 貸室**
- (3) ロビー**
- (4) 相談支援・イベント等**
- (5) 施設に求める機能**

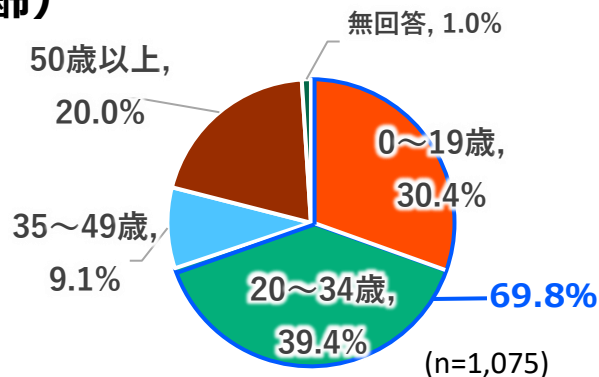
注1：この資料中の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

注2：クロス集計の場合、年齢が無回答であった回答を排除しているため、内訳の合計が全体の回答数と合致しないことがあります。

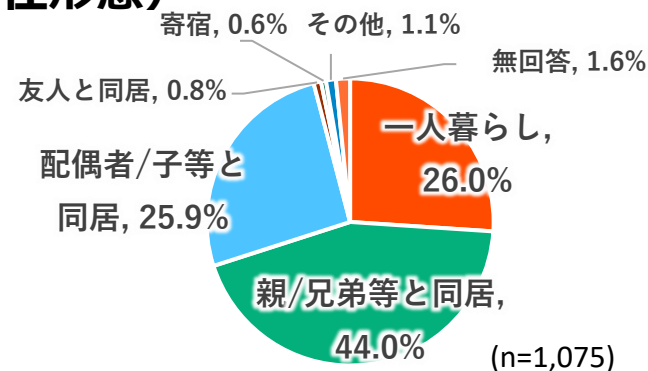
2. アンケート結果 (1) 基本情報 ～回答者の属性～

- ◆ 20歳～34歳からの回答が最も多く、0～19歳と合わせると69.8%を占めた。
- ◆ 居住形態は親/兄弟等と同居が44.0%で最も多く、次いで一人暮らし26.0%だった。
- ◆ 職業は学生が37.5%で最も多く、会社員/公務員等、アルバイト/パートと続いた。

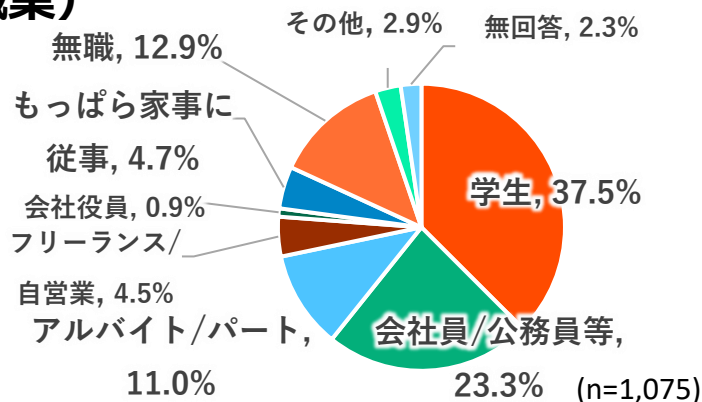
(年齢)



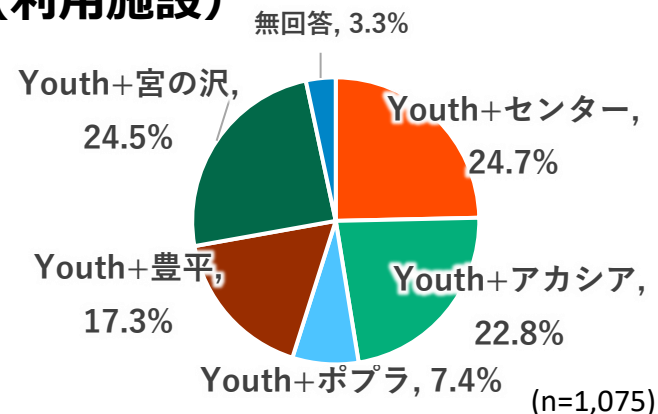
(居住形態)



(職業)



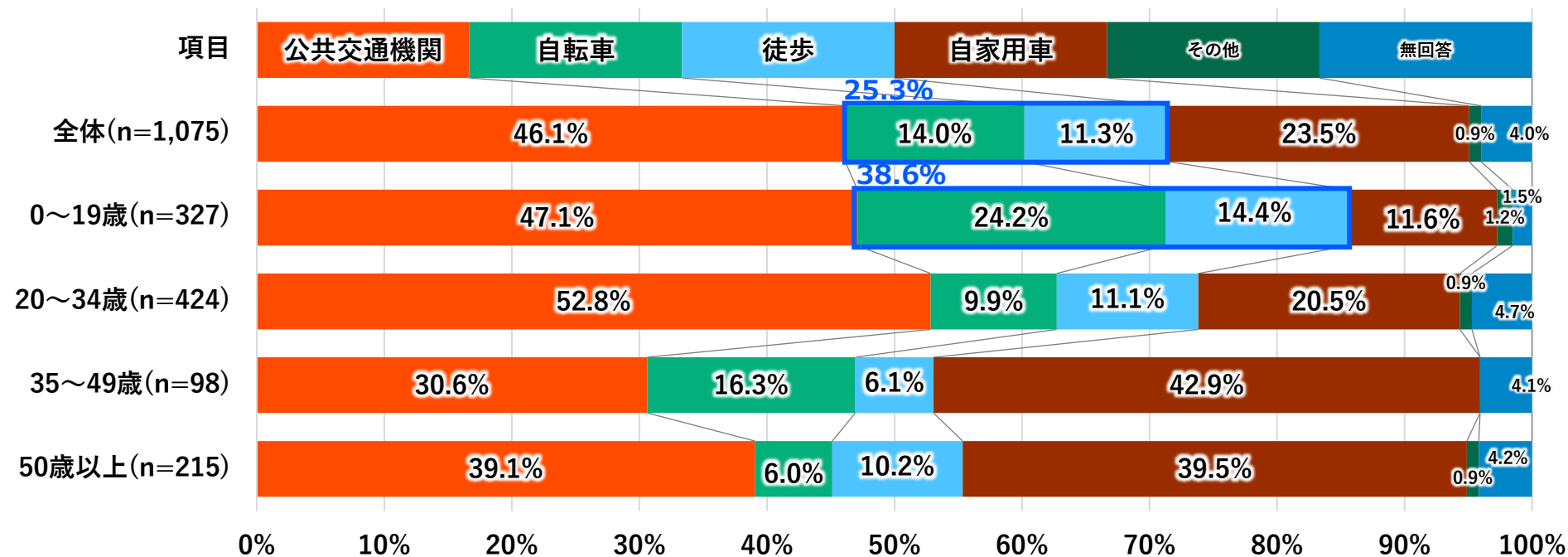
(利用施設)



2. アンケート結果 (1) 基本情報 ～来館手段～

- ◆ 35歳以上は自家用車の割合が最も高い一方、34歳以下は公共交通機関の割合が最も高かった。
- ◆ 自転車又は徒歩の割合が、全体では25.3%である一方、0～19歳では38.6%を占めた。

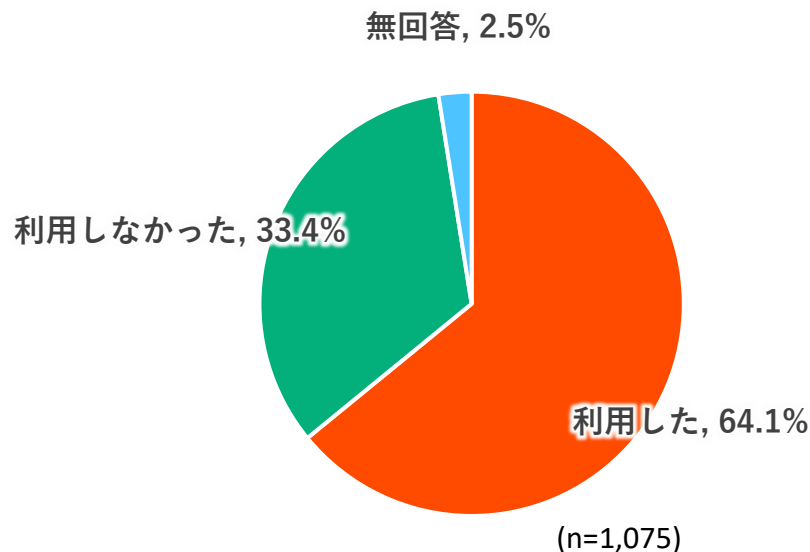
(来館するための主な交通手段)



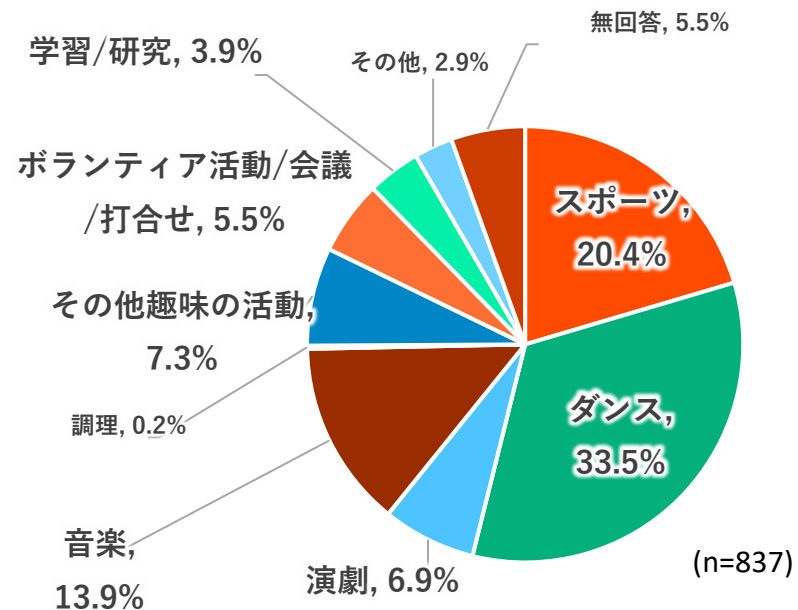
2. アンケート結果 (2) 貸室 ～利用・目的～

- ◆ 最近1年間で有料の貸室を利用したことがある人は全体の**64.1%**であった。
- ◆ 貸室の利用目的はダンスが**33.5%**を占め、スポーツ**20.4%**、音楽**13.9%**、その他趣味**7.3%**、演劇**6.9%**、会議等**5.5%**と続いた。

(最近1年間の有料貸室の利用)



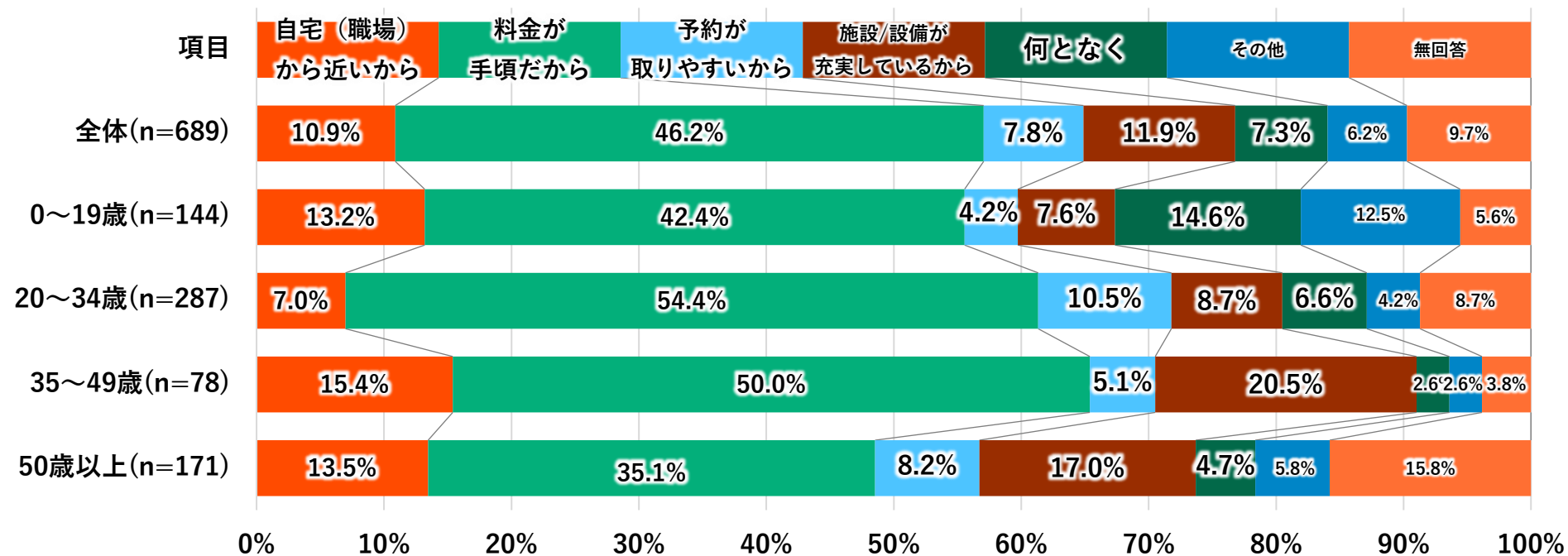
(貸室の利用目的) ※複数回答



2.アンケート結果 (2) 貸室 ～Youth+の貸室を選ぶ理由～

- ◆ 全世代で「料金が手頃」を理由とする回答が最も多く、次いで0～19歳は「何となく」、20～34歳は「予約が取りやすいから」を理由とする回答が多かった。

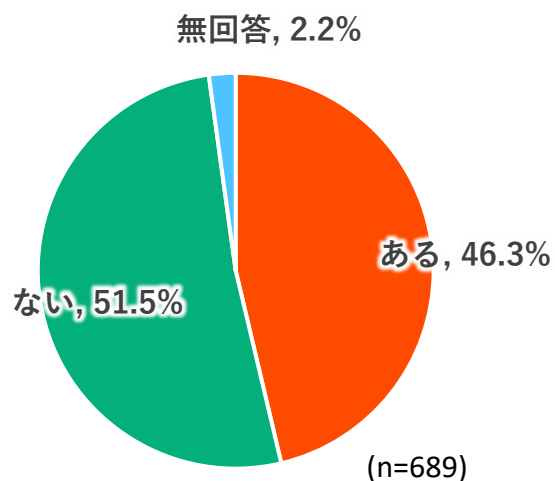
(Youth+の貸室を利用する理由)



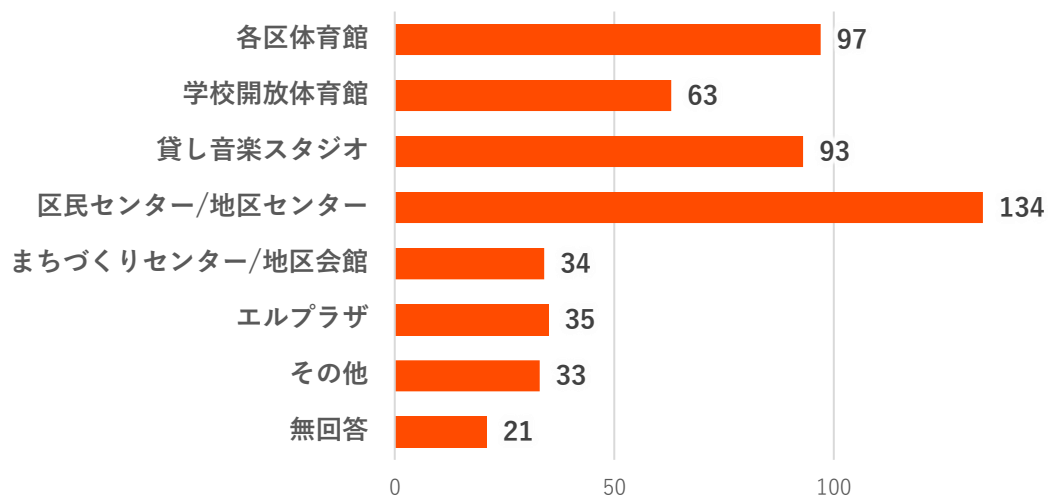
2. アンケート結果 (2) 貸室 ～類似施設の利用状況～

- ◆ Youth+以外に同じ目的で利用している施設（貸室）の有無を尋ねたところ、「ある」が46.3%、「ない」が51.5%であった。
- ◆ 利用している類似施設として、区民センター/地区センターをはじめとする公共施設が多かったほか、民間の貸し音楽スタジオも一定数の利用があった。

（Youth+以外に利用している類似施設）



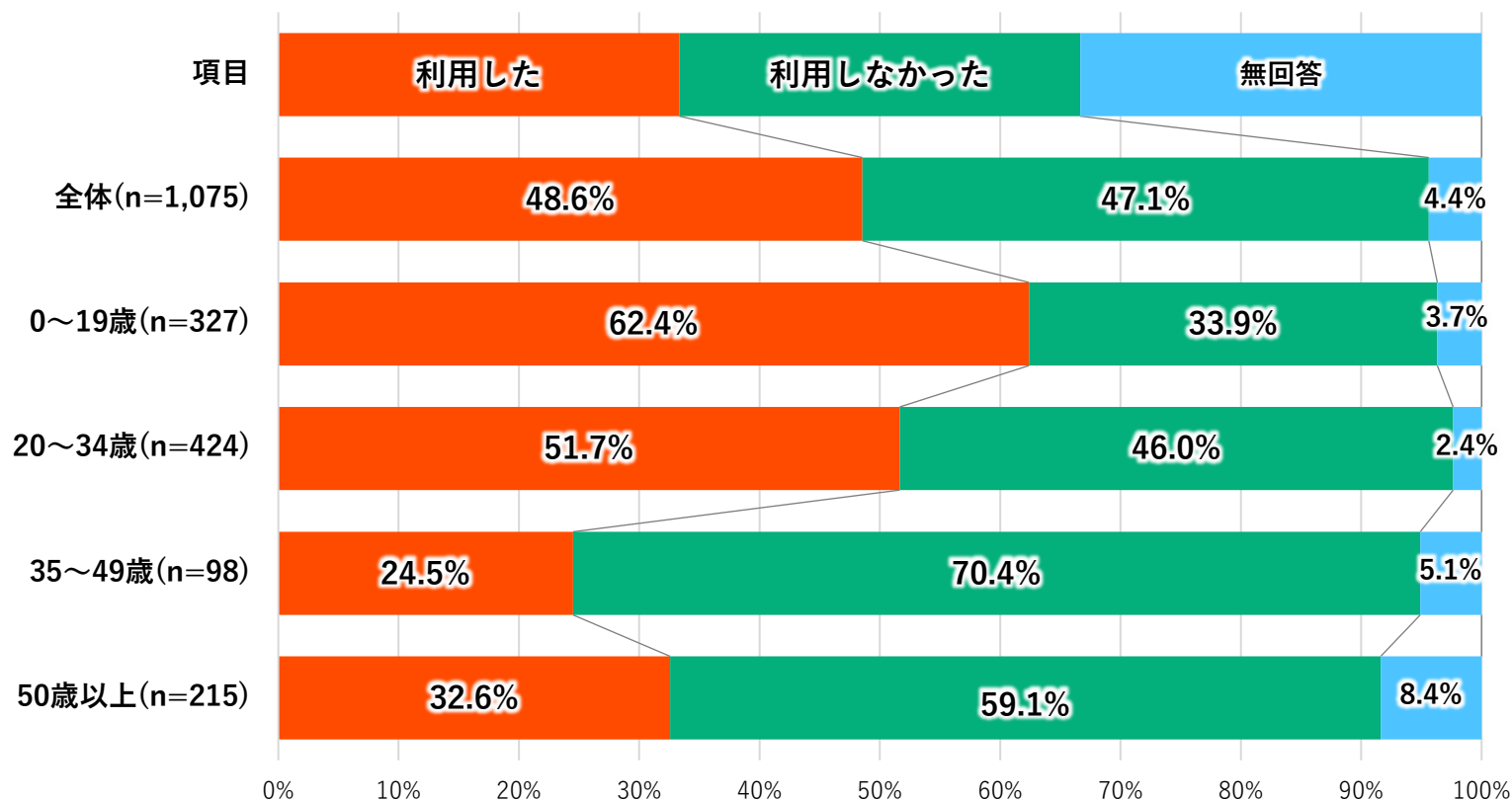
（具体的な類似施設）※複数回答



2. アンケート結果 (3) ロビー ～利用経験～

- ◆ 最近1年間におけるロビーの利用経験について、0～34歳では過半数を超える人が利用したことがある一方、35～49歳では24.5%、50歳以上では32.6%にとどまった。

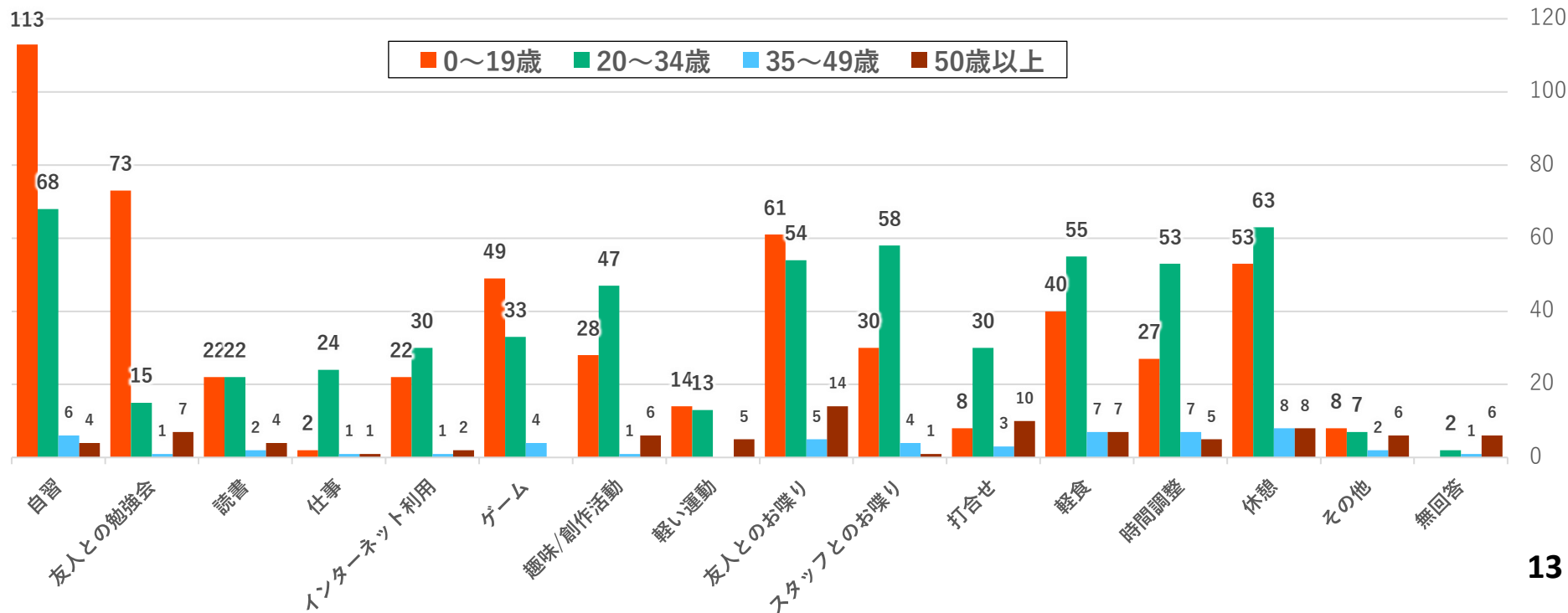
(最近1年間のロビーの利用経験)



2. アンケート結果 (3) ロビー ～利用目的～

- ◆ 0～19歳は「自習」、「友人との勉強会」を目的とする利用が多かった。
- ◆ 20～34歳は「自習」のほか、「趣味/創作活動」や「友人・スタッフとのお喋り」、「軽食」、「時間調整・休憩」など幅広い目的で利用されていた。
- ◆ 35歳以上は目的にかかわらずロビーがあまり利用されていないという実態であった。

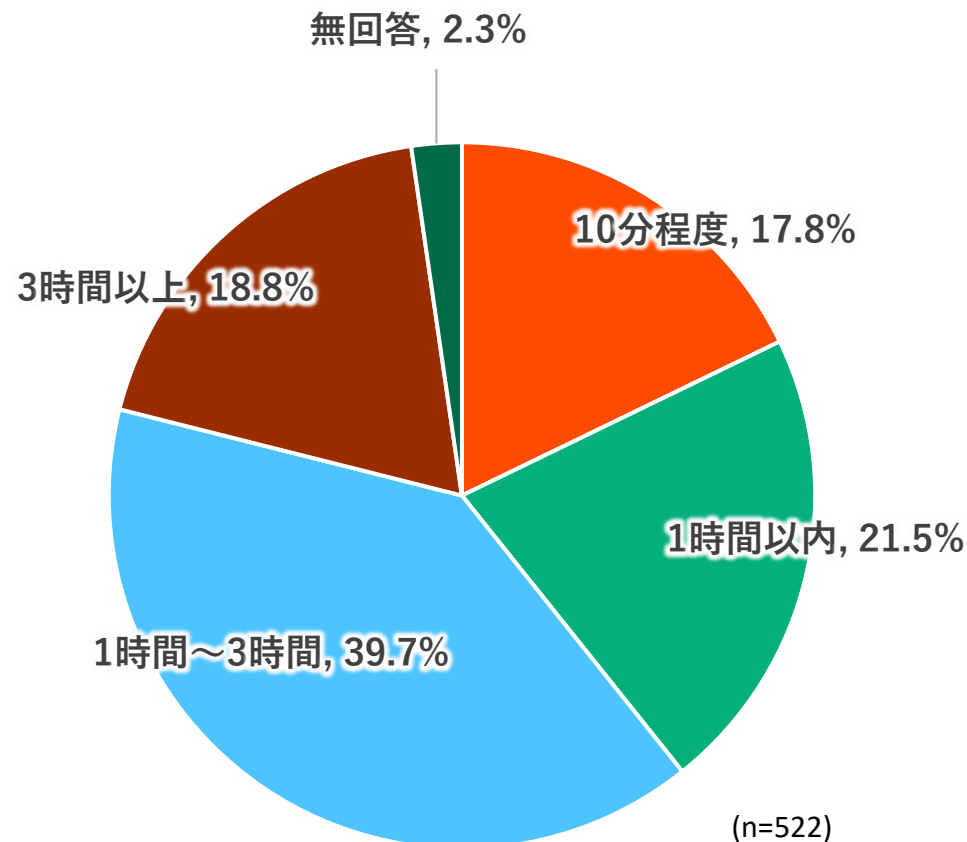
(ロビーの利用目的)※複数回答



2.アンケート結果 (3) ロビー ～滞在時間～

◆ 「1～3時間」滞在する人が**39.7%**で最も多く、次いで「1時間以内」が**21.5%**であった。「3時間以上」滞在する人も**18.8%**いた。

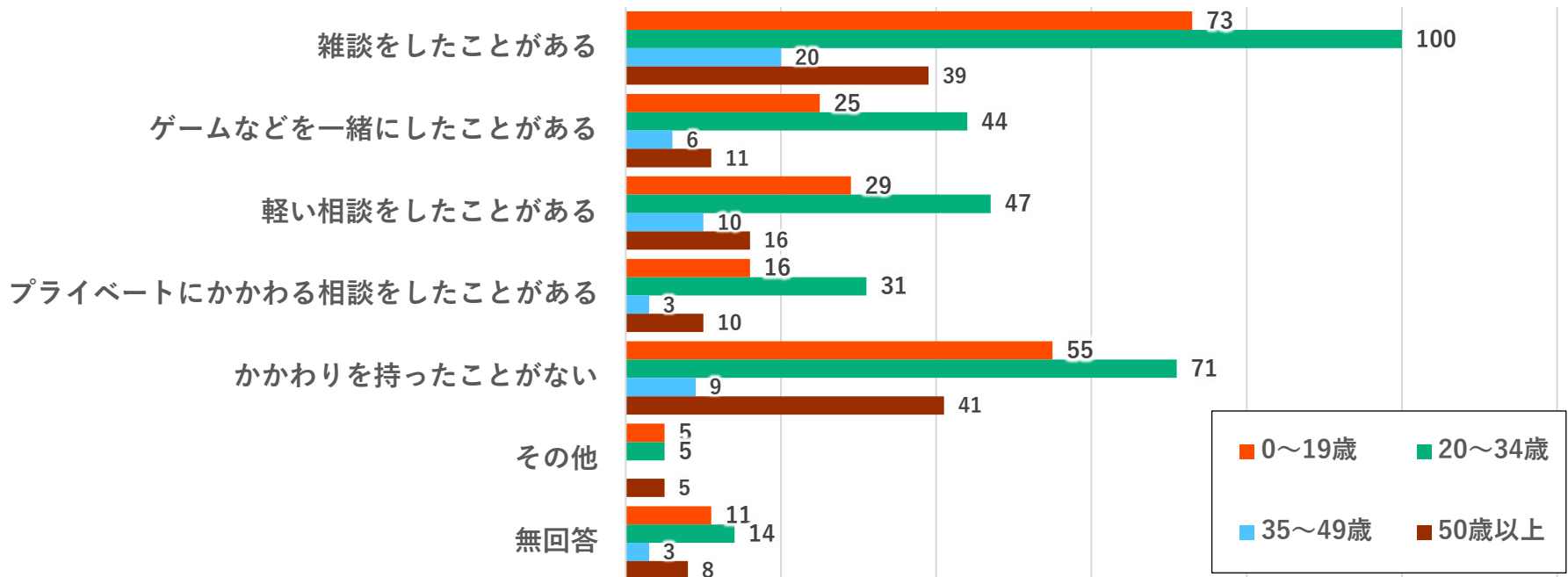
(ロビーの滞在時間)



2. アンケート結果 (3) ロビー ～スタッフとのかかわり～

- ◆ スタッフと何らかのかかわりを持ったことがあるという回答は、どの選択肢も20～34歳が最も多く、次いで0～19歳が多かった。
- ◆ スタッフとのかかわり方は、年齢層別で大きな違いは見られなかった。
- ◆ 「その他」では「軽食をもらった」や「イベントの打合せをした」、「第2の親みたいなもの」という回答もあった。

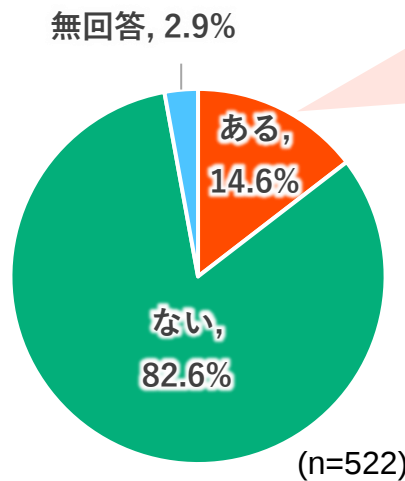
(スタッフとのかかわり) ※複数回答



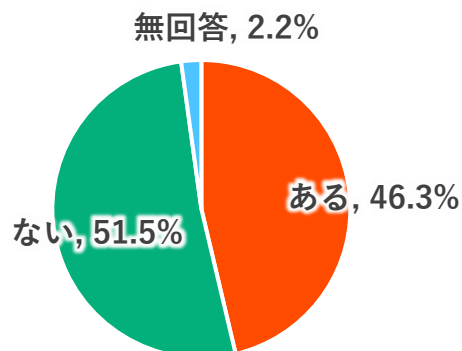
2. アンケート結果 (3) ロビー ～類似施設の利用状況～

◆ Youth+以外に同じ目的で利用している施設（ロビー）の有無を尋ねたところ、「ない」が82.6%を占めた。

(Youth+以外に利用している類似施設)



(参考：貸室の場合)



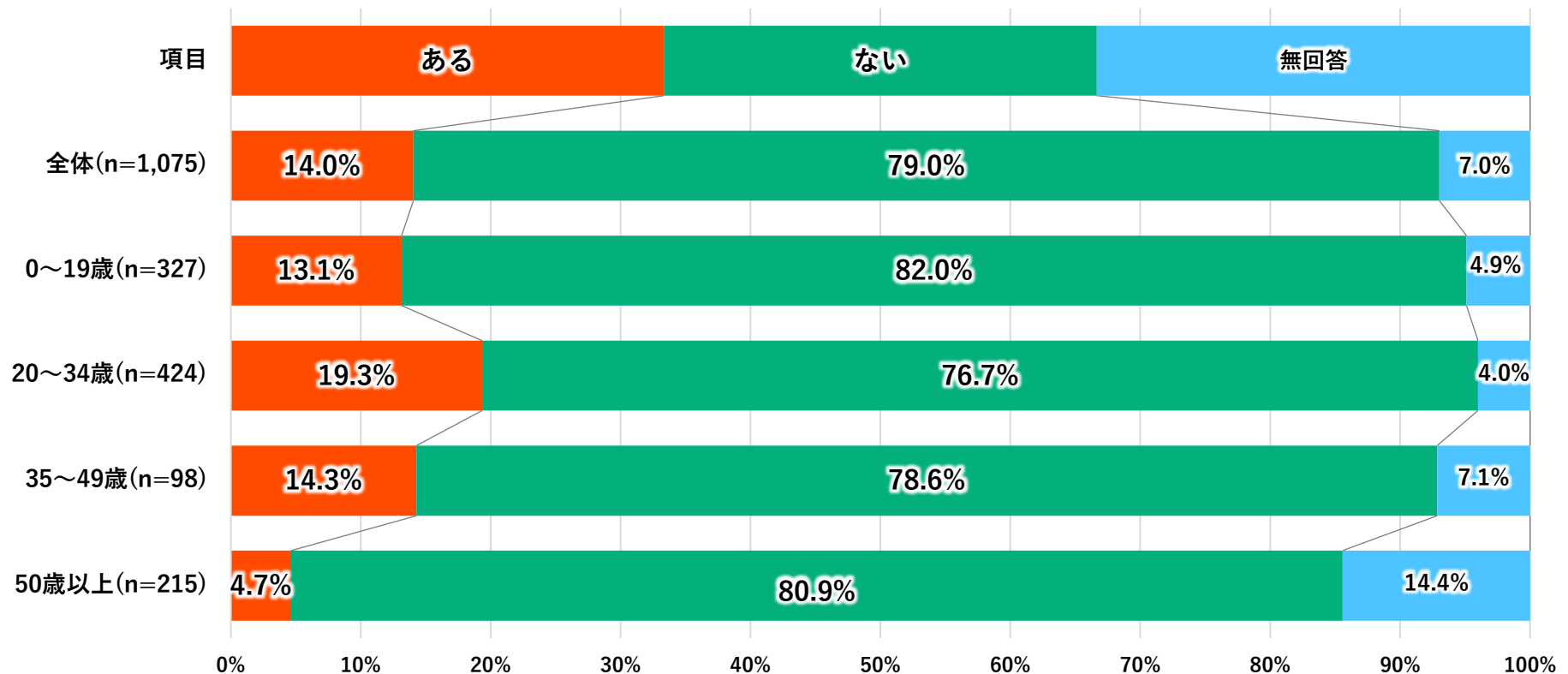
(利用している具体的な類似施設)

- 図書館、エルプラザ、区民センター、ちえりあ
 - 学校
 - カフェ
 - ピッケノハコ、漂流教室
(居場所 (運営：NPO法人))
 - 就業・生活相談室 (障がい者就業支援施設)
 - 地域活動支援センター (発達障がい者支援施設)
 - 精神科デイケア、放課後等デイサービス
 - コミュニティカフェ
- 等

2. アンケート結果 (4) 相談支援・イベント ～利用経験～

- ◆ 困り事の相談・支援プログラムや交流イベント・ボランティア活動の利用/参加経験について、全体で14.0%の人が「ある」と回答した。
- ◆ 年齢層別に見ると20～34歳で「ある」の回答が高い傾向が見られた。

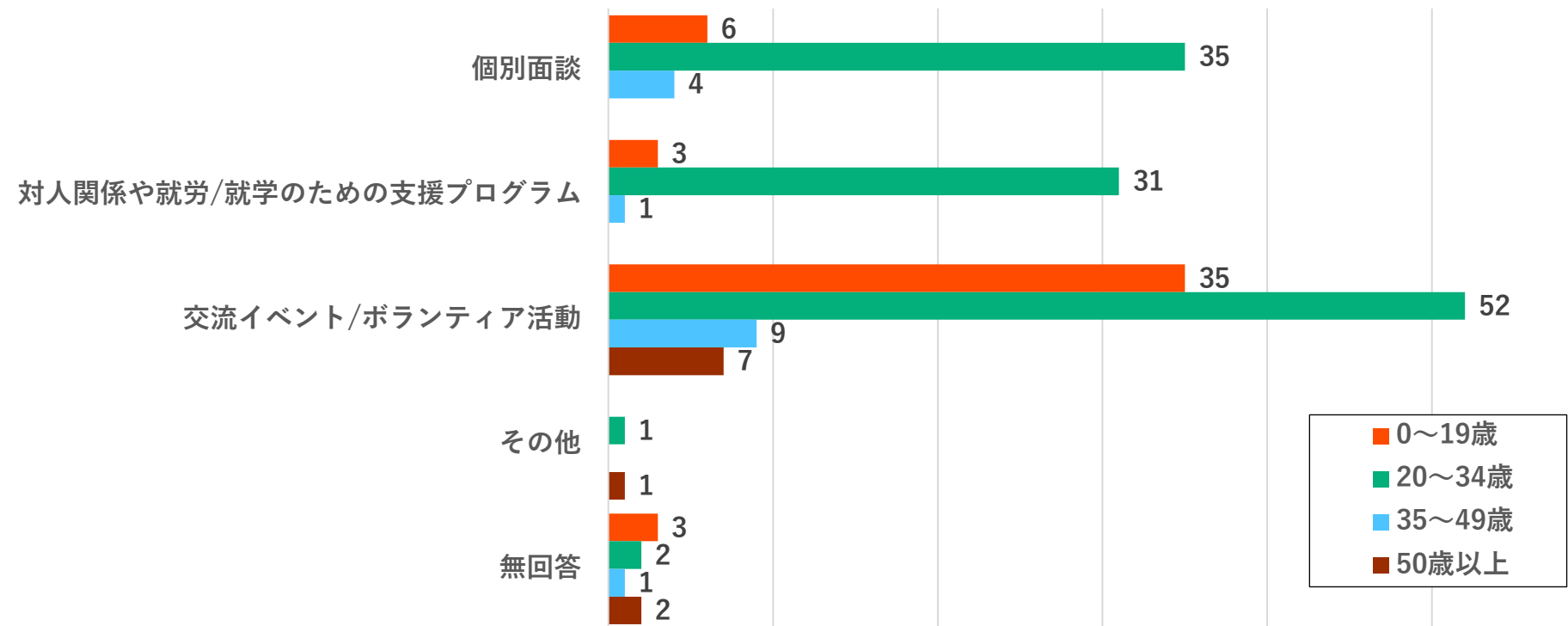
(相談・支援プログラムやイベント等の利用経験)



2. アンケート結果 (4) 相談支援・イベント ～利用内容～

- ◆ 「個別面談」、「対人関係や就労/就学のための支援プログラム」は20～34歳の利用が突出して多かった。
- ◆ 「交流イベント/ボランティア活動」についても20～34歳の利用が最も多い一方、0～19歳にも一定程度利用されていた。

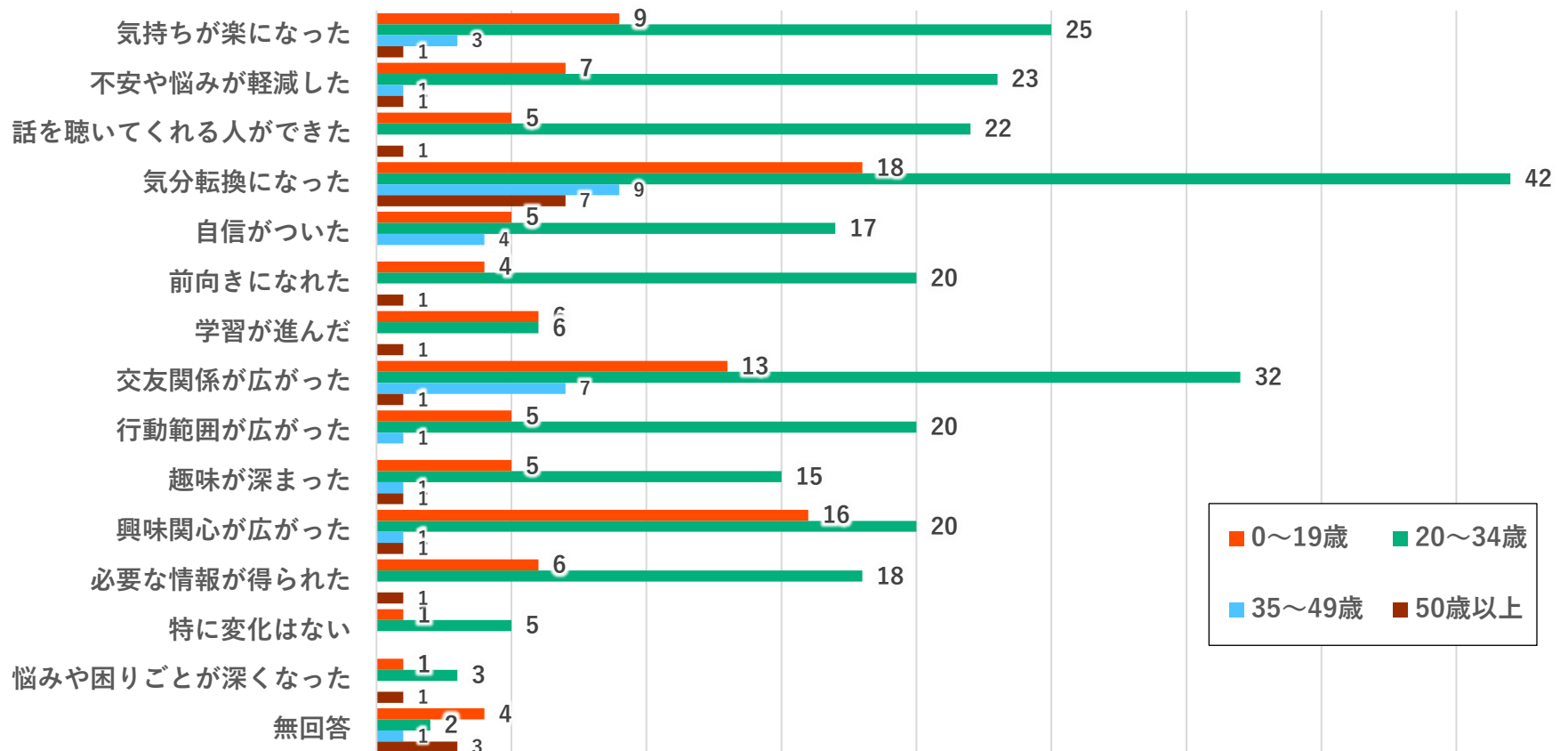
(相談支援・イベント等の内容)※複数回答



2.アンケート結果 (4) 相談支援・イベント ～利用後の変化～

- ◆ 全世代で「気分転換になった」との回答が最も多かった。
- ◆ 0～19歳では「興味関心が広がった」、20～34歳では「交友関係が広がった」との回答が多かった。

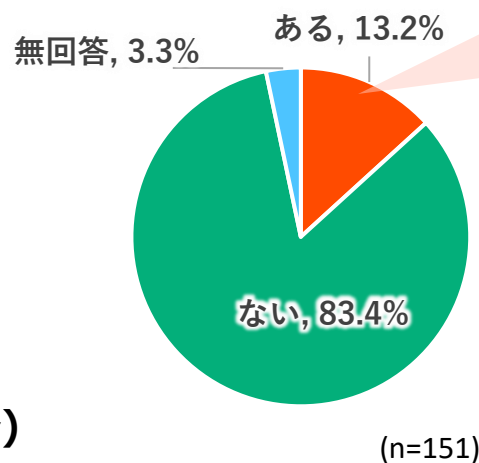
(気持ちや生活の変化)※複数回答



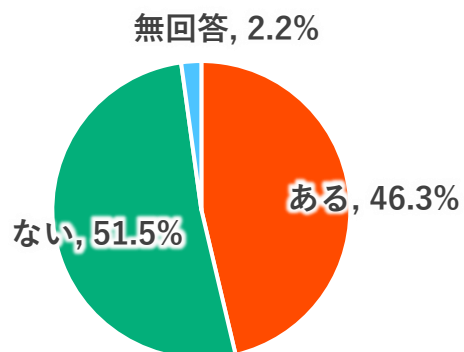
2. アンケート結果 (4) 相談支援・イベント ～ 類似施設の ～ 利用状況

- ◆ Youth+以外に同じ目的で利用している施設（相談支援・イベント）の有無を尋ねたところ、「ない」が83.4%を占めた。

(Youth+以外に利用している類似施設)



(参考：貸室の場合)



(利用している具体的な類似施設)

- エルプラザ
 - ピッケノハコ、漂流教室
(居場所 (運営：NPO法人))
 - フリースクール
 - ハローワーク
 - デイサービス
 - カウンセリング
 - コミュニティカフェ
- 等

2. アンケート結果 (5) 施設に求める機能

- ◆ 全世代で「誰でも気軽に立ち寄れる居場所の提供」との回答が最も多かった。
- ◆ 次に多かったのが「活動室や体育館など、活動する場所の提供」であり、次いで、「不登校やひきこもりの方たちの相談支援」であった。
- ◆ 年齢層別でYouth+に求める機能に大きな違いは見られなかった。

(Youth+に求める機能)※複数回答

